



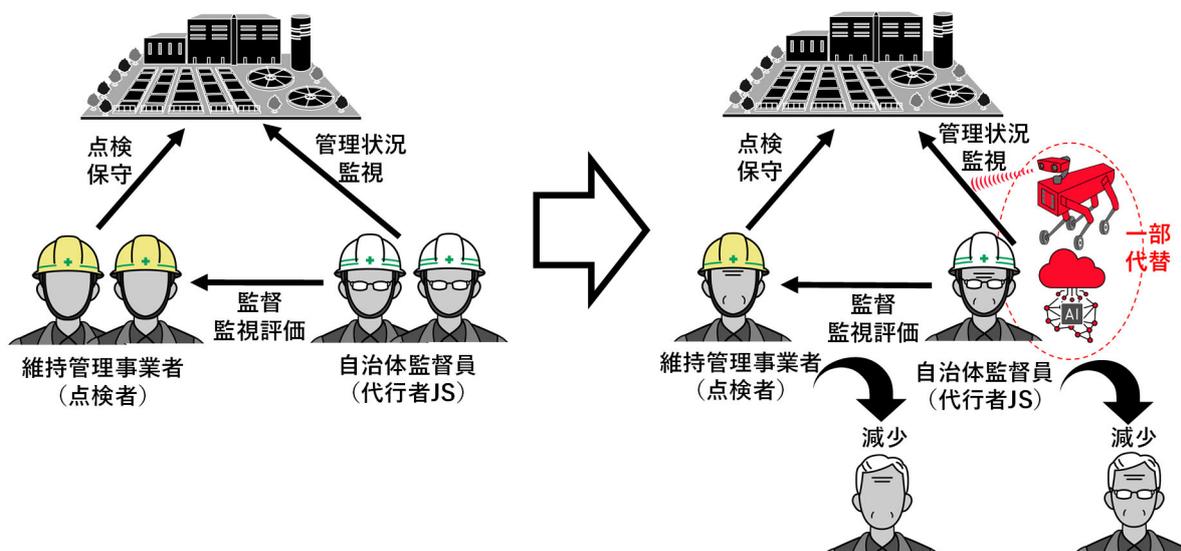
## ロボットで革新！下水道事業モニタリングの未来を切り拓く共同研究開始

日本下水道事業団(JS)は、次世代の下水道事業モニタリングに向け、日本工業大学の石川貴一郎准教授と、下水道事業モニタリング補助ロボット×AIに関する共同研究に着手しました。

### 【背景】

近年、WPPPの導入検討が進む中、民間への包括的な委託需要の増加や業務範囲の広域化に伴い、官による事業監視のためのモニタリング事業の需要と重要性が、ますます高まることが予想されます。

モニタリング事業には、技術的知見に基づく客観性と公平性が求められ、適切な事業監視（モニタリング）を行うためには、経験豊富な自治体職員を十分に配置する必要があります。しかし、自治体職員の人員不足は年々深刻化しています。



こうした背景を踏まえ、要請に応じて自治体業務を代行する JS は、日本工業大学と共同で、モニタリング事業の現地監視を補助するロボットの開発を開始しました。

### 【主な役割分担】

#### ● 移動用ロボットの自律巡視点検の開発

日本工業大学（基幹工学部機械工学科制御システム研究室 石川貴一郎准教授）との共同開発。

- センシング・データ処理の開発  
各種センシングと通信プラットフォーム、診断 AI の開発先は協議中。
- 開発検証の協力とフィールド提供  
令和 7 年 3 月 1 9 日に連携合意を結んだ千葉県及び千葉県下水道公社と連携。

<問い合わせ先>

日本下水道事業団

ソリューション推進部 次長 川上高男 TEL 03-6892-2014

DX 戦略部 次長 原田庄一郎 TEL 03-6892-2018